

2011.  
Vol. 52

三鷹市発  
女と男の生き方を考える情報誌

コーヒー  
入れて!

特集

女性が  
起業するって、  
大変なことですか?



女性のためのこころの相談室⑦  
女性に期待される「介護」の役割

～公的援助を上手にとり入れ、介護者のケアも忘れずに～

# 特集 女性が起業するって、大変なことですか？

## 社会に貢献する起業をめざす人へ

### みたかソーシャル&コミュニティ ビジネスプラン・コンペティション 2010

Mitaka Social & Community Business Plan Competition 2010



1月12日、三鷹産業プラザで開催された「みたかソーシャル&コミュニティビジネスプラン・コンペティション2010」において、明日の社会的起業をめざす16人の人たちに対して総額3,120万円、最大で1人300万円の起業支援金が支給されました。

このコンペティションは、内閣府地域社会雇用創造事業を活用した事業で、社会的起業という特徴からか、全国から寄せられた109件の応募のうち、その半数が女性



澤田めぐみさん

性からのものとなりました。また、2度の審査を通過した18人中10人が女性で、総合1位を受賞したのは、子ども向け医学教室「とうきょうキッズメディカルスクール」の澤田めぐみさん。  
澤田さんのビジネスプランは、「体と健康について知ることは生きる力を育む」との理念に基づき、三鷹市近郊の小学生を対象に、医師が医学の知識や命の大切さを伝えるスクールを開校するというもの。医師として大学病院に勤務していた澤田さんは、お子さんの出産を機に退職。1年半前、そのお子さんが小学校に入学したのをきっかけに、自宅で子どもたちを対象にした医学教室をボランティアで開きました。医療の現場で患者と1対1で向き合いながら、医学の知識が足りないために損をしている患者さんたちを見てきた澤田さんは、子どもの頃から医学知識・情報を伝えていきたいということで、今回の応募となりました。現在、4月からの定期講座開設に向けて準備を進めているそうです。

「みたかソーシャル&コミュニティビジネスプラン・コンペティション2011」は、5月16日から6月30日まで募集を受け付けています。詳しくは、みたか社会的企業人財創出コンソーシアム みたか身の丈起業塾プロジェクト事務局（電話：0422-40-9669）まで。

前回の取材では、仕事を始めるようになってから夫が家事に関わるようになり、会話も増えたと話していた森下さんですが、最近は一私

説得力を持ち始めた瞬間があったのかもしれない。今、夫は、お互いに外で受けた刺激について話し合うことが楽しいみたいです



何が足りないかや、これは周りの人が認めてくれることなんだとわかるようになりますから